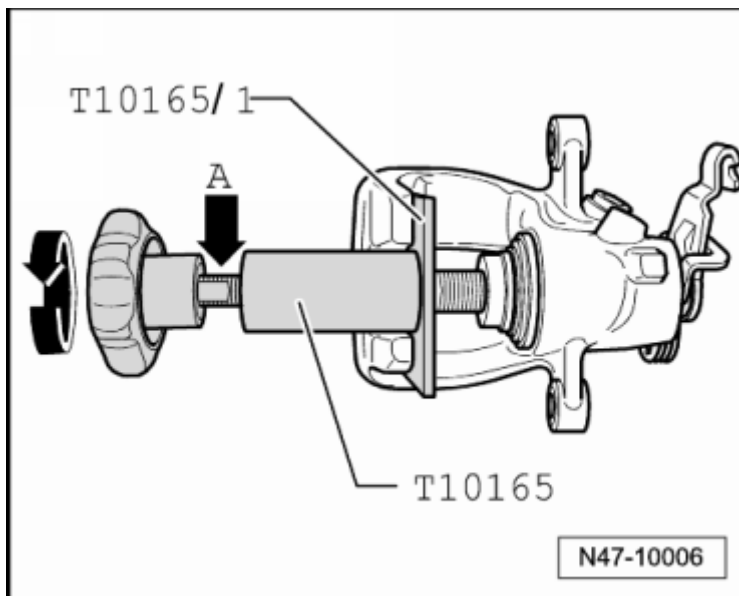


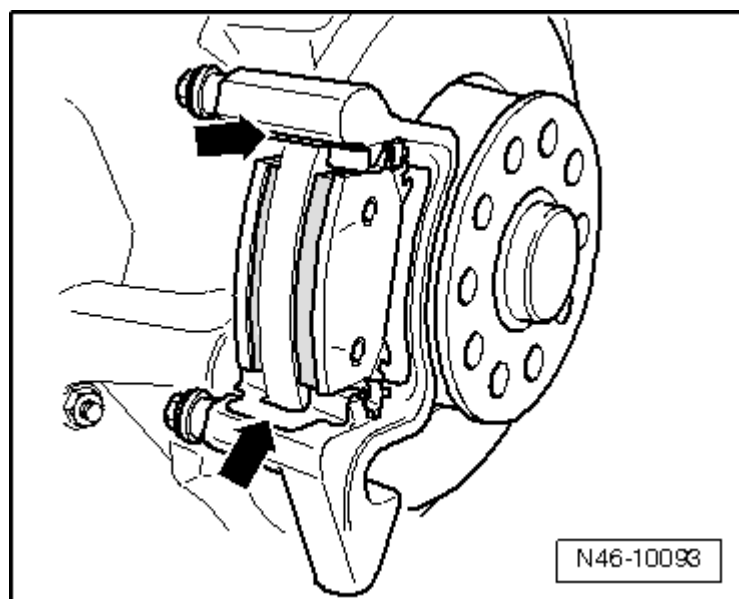
## 取り付け

ピストンを押し戻す前に、専用のブリーダー ボトルを使用して、ブレーキフルードリザーバーからブレーキフルードを少し抜き取っておく。リザーバーにブレーキフルードが補充されているとブレーキフルードが流出し、損傷につながる可能性がある。

- リセッティング ツール -T 10165- のローレット付きホイールを右に回して、ピストンを挿入する。その際、保護キャップを損傷させないように注意すること。
- 挿入する際は、スペシャル ツール T 10165/1 を使用すると作業が容易に行える。
- ◆ ピストンが固着している場合は、オープン エンド スパナ (13mm) を平らな部分 -矢印 A- に使用する。



- ブレーキパッドリテイニングプレート -矢印- とブレーキパッドをブレーキキャリアにセットする。



- ブレーキパッドがブレーキパッドリテイニングプレート -矢印- に取り付けられているか確認する。
- ブレーキキャリアを新品のセルフロックングボルトで固定する。
- ◆ リペアキットには、取り付けに必要な4本のセルフロックングヘキサゴンボルトが入っている。
- ホイールを取り付ける。

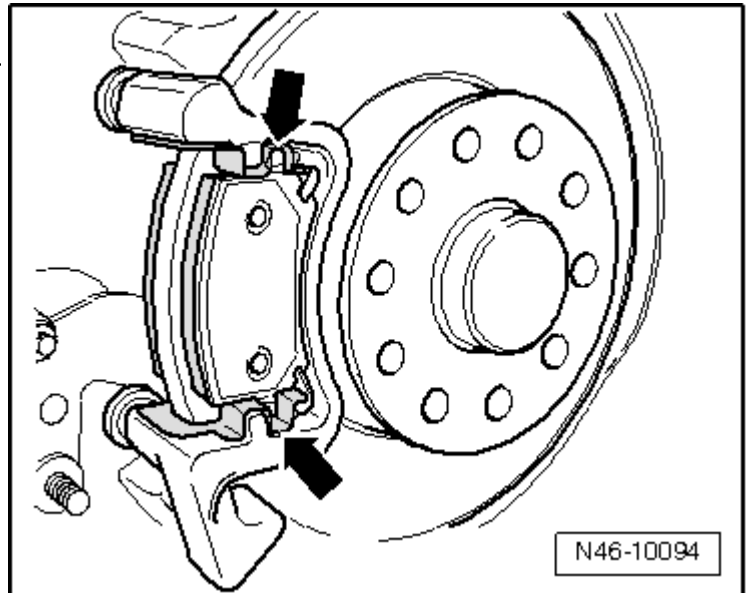
ホイールボルトの規定トルク **ランニングギヤ、アクスル、ステアリング; Rep.-Gr. 44**

### 注:

- ◆ ブレーキパッド交換後は、停車状態でブレーキペダルを数

回力強く踏み込み、ブレーキパッドが所定の作動位置になるようにする。

- ◆ ブレーキパッドの交換後、ブレーキフルードレベルを点検する。



**規定トルク:**

ヘキサゴン ボルト、ブレーキ キャリパーとブレーキ キャリア

35Nm

- ◆ 新品のボルトに交換すること。